

挑戦の地 吉野



YOSHINO LIFE

さあ 吉野に住もう

奈良県吉野町移住者向けパンフレット

Yoshino Town, Nara Prefecture Brochure for immigrants

吉野町の紹介

吉野町は、紀伊半島の真ん中、奈良県のほぼ中央に位置する町。

吉野町は、竜門山地と吉野山地に囲まれ、その間を西流する吉野川の中流域に位置する町です。町域の一部は吉野熊野国立公園、吉野川・津風呂県立自然公園に指定されており、全国的には吉野山の桜で有名です。

歴史

「吉野」は、古くは古事記、日本書紀、万葉集にも記述があり、歴史の大きな舞台にも幾たびか姿を現してきました。後に天武天皇となった大海人皇子が壬申の乱の前に吉野に身を潜め、平家を討った源義経が兄頼朝に追われて吉野に逃げ込み、北条幕府を倒して建武の中興を遂げた後醍醐天皇が南朝の拠点として選んだのも吉野です。



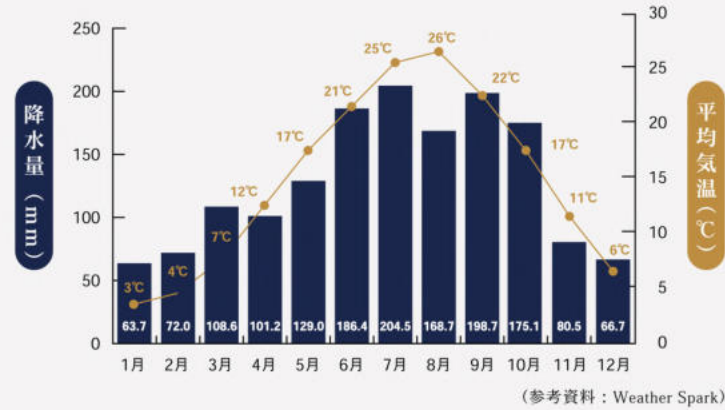
気候と人口データ

人口
約 5,821名 (令和7年1月末日時点住民基本台帳)

気候

暑い時期		寒い時期	
平均最高気温	30℃	平均最低気温	0℃
平均最低気温	23℃	平均最高気温	7℃

降雪量
降雪量の多い月 2月 (平均降雪量 27mm)



交通のアクセス

電車でお越しの方

駅	所要時間
大阪駅	約1時間45分
京都駅	約1時間42分
近鉄奈良駅	約1時間2分
関西空港駅	約2時間7分

大和上市駅

(参考資料: navitime調べ、最短の所要時間)

車でお越しの方

駅	所要時間
大阪駅	約1時間20分
京都駅	約1時間43分
近鉄奈良駅	約1時間13分
関西空港駅	約1時間33分

吉野町役場

(参考資料: navitime調べ、最短の所要時間)



吉野町は、3つのエリアと7つの地区に分かれています。

室町時代から商業の拠点として栄えた上市、原木市場や製材所が立ち並び、木の香りが漂う「木の町」吉野。吉野で栄えた商業と産業の歴史を感じることができるエリアです。①②③

① かみいちちく 上市地区 室町時代から商業の拠点として栄えた地区



② よしのちく 吉野地区 原木市場を中心に周辺には製材所が立ち並び、木の香りが漂う地区



③ よしのやまちく 吉野山地区 南北朝時代に南朝の都が置かれ、桜の名所として有名な地区



古くは古事記や日本書紀、万葉集にも多く詠まれるなど古い歴史を持ち、手漉き和紙や製紙業をはじめとするものづくり工房が集積する、歴史と匠の技が体感できるエリアです。④⑤

④ なかしょうちく 中荘地区 歴史豊かで風光明媚な山間の景勝地、万葉集でも謳われる地区



⑤ くずちく 国栖地区 手漉き和紙や製紙業をはじめとするものづくり工房が集積する地区



吉野町の最高峰、龍門岳と津風呂湖などの広大な自然と、吉野運動公園やグランテージゴルフ倶楽部など、スポーツ施設が充実したエリアです。⑥⑦

⑥ なかりゅうもんちく 中竜門地区 吉野の東の玄関口として、農林業を中心とした文化を築いた地区



⑦ りゅうもんちく 龍門地区 龍門岳や津風呂湖など広大な自然と農村地帯が広がる地区



地域の人に支えられながら、沖縄料理のお店と子育てを両立

移住元 大阪府大阪市



米須さんご家族

01 移住までの経緯
 山奥の田舎で喫茶店と宿をしている友人に会いに行った時に、そこでの暮らしがとても楽しそうに感じて、二人とも「田舎でこんな暮らしがしたい！」ってなっちゃったんです。それからすぐに場所を探し始めました。その時はどこに移住するか決めていなかった、とにかくあちこちの空き家の情報を集めていました。インターネットで色々とお手伝いをして、地域の人と交流ができるTENNJIKUというサービースを知り、実際に地域に行ってみようと思ったんです。すぐに登録して、最初に訪れたのが吉野町でした。地域の人と交流した時、皆さんとても親切で、見ず知らずの私たちを受け入れてくれて、すぐに打ち解ける事ができました。それで、思いきって、吉野町にしよう！と決めました。

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化
 子育てをしながら沖縄料理のお店をしているのですが、営業中でも子どもの相手をしないといけない時があつて、でも、地域の人やお客さんが理解してくれて、時には子どもの相手をしてくれるんです。なので、営業するのにも助かっているんです。吉野町に来て、お店をしてよかつたなと思ってますね。また、地域の人や旬の野菜、野草を分けて教えてくれるんです。おかげさまで、地域ならではのメニューを出すことができるようになって、食の幅が広がりました。



03 移住を検討している方に
 吉野の人は、外から来た人を受け入れてくれるんです。私たちが住まいを探していた時に、知らない人に「ここは空き家ですか？」って訪ねて回っていたのですが、皆さん親切に教えてくれるんですよ。吉野町に移住を検討している方は、どんだん地域の人と話をしてください。あと、子育て世代の方で、移住を検討していたり、不安に思っていることがある方は、いつでも相談に来てください。

私たちの吉野町での暮らしの楽しみ方



活動的な吉野の人たちに刺激を受け、なんでも挑戦するようになりました

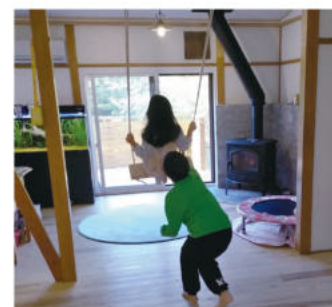
移住元 奈良県香芝市



本田さんご家族

01 移住までの経緯
 将来は夫婦で自営業をやりたいとずっと思っていて、ちょうど民泊が流行りだした頃に「民泊なら奥さんが子育てしながらでもできる」ってなつて、でも、当時は住宅地に住んでいたのが民泊が始められない。そこで場所探しから始めることにしました。吉野町を選んだのは、よく川遊びに来ていて馴染みがあったのと、職場が通勤圏内で転職する必要がなかったからです。あとは、ゲストハウス三奇楼で移住体験をして、地域の人たちと話をしたり、遊んだりしている子どもたちがとても楽しそうだったので、「ここだ！」って決めましたね。

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化
 移住後は、自然の豊かさを感じる毎日です。朝の澄んだ空気が心地よくて、夕日や夜空の美しさに癒されています。吉野町は小中一貫校で、年齢に関係なくみんな友達みたいな感じで、スポーツクラブは競技が変わってもメンバーと一緒に、友達との絆がとても深いと感じます。あと、地域の人たちは親しみやすいので、とにかく活動的。親同士つながりも強くて、私たちが自然とその輪に入っていて、子ども食堂のお手伝いをしたり、パンを作ったり、いろんなことに挑戦するようになりました。



03 移住を検討している方に
 交通機関が充実していないので、車が必要ですね。近くにスーパーやコンビニはありますが、足りないものは車で檜原や桜井に行つて、1週間分をまとめ買いしています。あと、高校は町外になるし、子どもの習い事も町外が多いので、どうしても車は必要かな。田舎暮らしには不便な部分もあるけど、地域のつながりや温かさが大きな魅力だと思うので、ぜひともそれを感じてほしいですね。

私たちの吉野町での暮らしの楽しみ方



子育て、私たちの趣味を考えると、吉野暮らしはぴったり

移住元 愛知県岡崎市



杉本さんご家族

01 移住までの経緯

妻の実家が吉野町で、里帰り出産をするために妻だけ実家に戻っていた時に新型コロナウイルス感染症が蔓延しました。出産後も、コロナの状況が変わらず、岡崎市と吉野町で別々の生活を、こんな生活がいつまで続くのだろうか、今後の子育てをどうしようと考えていたら、吉野での子育てもありだなんて。だって、子どもが騒いでも怒る人がいないし、あとは小中一貫校のさくら学園ができて、きれいな学校に通えるのもうれしいだろうなって。あと、私と妻はずっと音楽をやっていて、田舎だといつでも自由に楽器を弾いたりできることも決め手に。住むことを決めてからハローワークで仕事探しを始め、タイミングよく前職と同じ業種の仕事が見つかり、その後移住しました。

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化

住宅街の暮らしと違って、人目や時間を気にせず自由に子育てしたり、趣味を楽しめるように。もし住宅街で子育てをしていたら、夜に子どもが騒いだら注意ばかりすることになっていたと思うんです。他の人に迷惑をかけるのは良くないですが、のびのびと育ててほしいので、子育てするにはとても良い場所です。あと、私たちがもギターを弾いたり、珈琲焙煎をするのですが、煙を出しても怒られることもないので、気を使うことがなくなりました。変化がなくなると、私たちのストレスがなくなることが大きいですね。



03 私たちの吉野町での暮らしの楽しみ方

吉野の人は、お祭りやイベント好きな人が多いと思います。私たちがも地域の人との関わりがどんどん広がっています。地域の人と交流したい人には吉野は合っていると思います。でも、時間がのんびり流れているので、車の運転がゆっくりだったり、せつかな人には合っていないかも。あと、私たちが住んでいるところは、近くにコンビニやスーパーがあって、程よい田舎なので、山奥に住みたいって人も違うかもしれないですね。



不便じゃないちょうどよい田舎、自然に地域の人とつながっていくのが良い

移住元 岡山県新見市



国本さんご家族

01 移住までの経緯

私(主人)は吉野へ来る前は岡山県新見市に住み、林業の会社で働いていました。しかし、森林管理の仕事に就くために奈良県にあるフォレストアカデミーに通うことを決めました。この学校が吉野町にあるので、吉野町に住むことになりました。フォレストアカデミーでは2年間、林業についてじっくり学べる環境があって、特に林業が盛んな吉野町での暮らしはとても充実していました。卒業後は、現場作業の経験を活かしたいと思い、黒滝村で就職することになりました。

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化

もともと岡山県の田舎に住んでいて、そこから田舎に来たので、大きく変わったことはありませんが(笑)。ただ、吉野には移住者が多くて、移住者の人たちが多くイベントしたり、マルシェしたり、古民家レストランしたりと自分がやりたいことを楽しんでいるんですね。その場に行く、地域の人、知らない移住者など、どんどんつながりが生まれて、勝手に色々な人と友だちになっっているのがいいですね。つながりが増えて楽しいことがたくさんありますよ。

* 奈良県フォレストアカデミーとは、スイスのフォレスト制度などをモデルとした新たな森林環境管理を担う人材の養成機関。

03 移住を検討している方に

03 吉野町に移住するにあたってのアドバイス

吉野町は「ちょうどよい田舎」だと思います。田舎暮らしをしてみたいけど、あまり不便すぎるのは困るという人にはぴったりだと思えます。でも、冬は寒いので覚悟が必要です。あとは、虫が多いですね。谷間にあるので仕方ないですが、日照時間が短く空が狭く感じることもあります。それは場所によるので事前に確認するといいですね。あと、子育ての方は、病院が近くにあるかは確認したほうが良いと思います。

私たちの吉野町での暮らしの楽しみ方



長い人生の休憩場所として吉野に。気づけば、植木屋再始動

移住元 群馬県高崎市



澁谷さんご家族

01 移住までの経緯
群馬で植木屋をやりながら、シングルマザーで子育てをしていました。ある日、子どもが不登校になって、仕事場に連れて行くわけにもいかず、周りの人は心配して色々お世話してくれました。毎日、毎日がいついっばい、ストレスに押しつぶされそうになって、迷惑ばかりかかっている自分が嫌になっちゃったんです。そんな時、奈良に住んでる友達から連絡があって、「ちょっとこっちに遊びに来ない？」って誘われて、一人で遊びに行った時にたまたま吉野町に寄ったんです。その時見た吉野川の空の開けた景色が懐かしくて、昔の素直な自分に戻った感じがして、一瞬で心奪われちゃったんです。それから3ヶ月後、再び行く機会があって、また同じような感覚になって、「ここに住もうって思いましたね。ここなら長い人生で、一時の休憩場所として暮らせそうだし、自分のために生きていけそうって感じました。うれいことに、子どもたちも一緒に来てくれて、今はみんなで吉野暮らしです。」

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化
私が吉野に来た理由って、地域の人に話をしてなかつたんです。それなのに不思議と地域の人から私たちのことを察してくれてるんです。そっとしておいてくれたり、「飯に誘ってくれたり、ちまうどよい距離感というか、ほっとかされてるようで見守られているというか。無理せず自然な感じで地域の人たちとつながっている距離感がとても心地よいんです。はじめは仕事をせずにのんびりしてただけで、気づけば周りの人のお庭を手入れするようになって、だんだん仕事が増えていって、今では好きな木に囲まれて、植木の仕事を楽しみながら毎日過ごしています。」

都会に住むより、自分がやりたいことを実現できる吉野暮らしは刺激的

移住元 東京都世田谷区



津幡さん

01 移住までの経緯
千葉県出身で、社会人になってから東京で暮らしていました。妻が亡くなって、娘が妻の実家の吉野町で暮らすことになって、離ればなれになってしまいました。その後、コロナが流行、テレワークをすることに。その時に、テレワークするんだら、娘の近くに住みたいって考えるようになって。あと、東京っていろんな人や文化に出会えることが刺激的で、それが好きで住んでいたんですけど、年を重ねていくにつれて、都会にいる理由がなくなってきたこともあって、吉野に移住したいって会社に相談したら、「いいよ！って。」

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化
吉野町は前妻の実家があったので、どんな場所か知っていました。飲食店は少ないけど、三奇楼っていうゲストハウスに蔵を改装したチャレンジショップがあって、たまに地域の人がお店を開いているんです。地元の人との交流が広がって、自然に知り合いが増えていくのが楽しいですね。吉野ならではの、仕事は音楽関係で、楽器が好きなんですけど、家を探している時にドラブツカって、楽器をしている人に出会って、弟子入り。暇さえあれば叩いて、毎週ドラブツカ奏者と集まっています(笑)。移住してから知り合った人が副業で民泊をやっていて、それが面白そうだなと思って物件を買って民泊を始めたんです。今はもう一軒やりたいなと思っていて、できれば音楽スタジオ付きの民泊にして、全国から音楽好きに来てもらいたいな。そこでいろんな人と交流できたなら最高じゃないですか！

大好きな木に囲まれ、木に関わる仕事をして、私らしく生きていく

移住元 大阪府岸和田市



橋元さん

01 移住までの経緯
高校と大学でデザインの勉強をして、おもちゃ会社に就職しました。働いているうちに日本のおもちゃを自分で作りたい気持ちが強くなって、奈良県立高等技術専門学校に行ったら木工を学ぶことになりました。在学中に先生から、「国産材を使いたいなら吉野町がいいのでは？」と言われ、ちょうどその時に吉野町で地域おこし協力隊を募集していたので応募しました。吉野町なら、いつでも吉野材が手に入る環境だし、「ここなら自分のやりたい仕事ができそうだなって。あと、学校を卒業してすぐに独立するのは少しハードル高かったんで、協力隊の3年間でいろいろ学べるのもタイミング的によかったです。今は木のおもちゃを作ったり、木に触れて学ぶ木育教育の講師をしたりしています。自分のやりたいことが少しずつ形になって広がってきてる感じがですね！」

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化
「人として成長したね」って少し前に親から言われたんです。吉野に来てから、仕事柄いろんな人と関わることが増えました。地域の人たちとの付き合いや、さまざまな委員会活動のお年寄りまで幅広い年代の方々と接する機会が多くなったんです。地域の人たちに優しくしてもらって、自然と自分も優しくなれるんですよ。心配してくれたり、いろいろ面倒を見てくれたりするのを見ると、自分もそうしてあげたいなっていうか、たぶん、そういう経験が影響して「人として成長していった」んだと思います。」

地域の人に応援してくれるから、新しいことに挑戦できるまち

移住元 神奈川県川崎市



菊地さん

01 移住までの経緯
大学を卒業してからずっと専門職として働いていました。30代になり、今の仕事をずっと続けていくのかを考えるようになって。年齢的にも人生の中で今の環境をガラッと変えられるタイミングって今しかないんじゃないかなって。転職や移住を考えるようになって、移住先は最初から「田舎っていい人多いんだろな」っていう漠然としたイメージがあったので、田舎で家と仕事を探すことに。何度か訪れたことがあった奈良で探していたら、ちょうど吉野町が地域おこし協力隊を募集していたので応募しました。ゲストハウスの三奇楼に泊まった時に、地域の人たちがすごく温かくて、「この人たちが近くに居てくれたら知らない土地でも生活していける」って思ったのが決め手でしたね。結局、移住を決めたのは人の魅力が大きかったです。」

02 移住後の暮らしや仕事、遊びなどの環境の変化
地域おこし協力隊を卒業して、今は役場で移住者を増やすための仕事をしています。田舎って人手不足なので、一人でもこなさないといけないのですが、色んな人と関わって仕事することは楽しいし、一人で行き詰まることがなくなったので日々のストレスが減ったように感じます。あと、洋菓子工房を始めました。昔から趣味でお菓子を作っていて、ほんやりと洋菓子のお店つくりたいなって思っていたら、地域の人に応援してくるし、吉野町にはお菓子屋さんがないので、地域の役に立てばと思って挑戦しました。地域の人々が宣伝してくれて、とても心強いですね。」

吉野町での子育て

乳幼児

■ にこにこランド・にこにこルーム

0～2歳児のお子さまと保護者の方が気軽に集まり、リズム遊びや運動遊び、制作活動など年齢に応じた遊びをする交流の場です。また、未就園児の遊びや子育てに関する講座を開催しています。お申し込みは不要、参加費は無料です。

吉野町 教育委員会事務局 教育総務課
【電話番号】0746-32-0190

※開催日・場所は
吉野町のホームページをご覧ください。



■ 育児サークル「びよびよ広場」

未就園児と保護者の方、妊婦の方を対象に、手形足形アートや絵本の読み聞かせなどを行い、子育て仲間や子ども同士の交流の場となっています。また、専門職が子育てに関する相談を受け付けています。

吉野町 長寿福祉課 保健センター
【電話番号】0746-32-0521

※開催日・場所は
吉野町のホームページをご覧ください。



生後6ヵ月～小学校就学前

■ よしのこども園

よしのこども園は「木のまち」吉野と呼ばれる、何世紀もの時を刻んできた製材所が集まるエリアの近くにあり、この辺りは心安らく木の香りに包まれています。吉野杉・桧の温もりに包まれ、木に触れながら、幼児期の大切な時間を過ごすことができます。



〒639-3113
奈良県吉野郡吉野町飯貝465-1
【電話番号】0746-32-2380
【開園時間】午前7時30分～午後7時00分
【休園日】

●1・2・3号認定
日・祝日
年末年始（12月29日～1月3日）

●1号認定
夏期休業（7月21日～8月31日）
冬季休業（12月24日～1月3日）
春季休業（3月25日～4月5日）

小学校・中学校（町立小中一貫教育校）

■ 町立小中一貫教育校 吉野さくら学園

施設一体型小中一貫教育校「吉野さくら学園」では、吉野小学校と吉野中学校が連携して、義務教育9年間の一貫教育を行います。新校舎は木のまち吉野らしく、学校空間全体を吉野産材で木質化しており、木の香りが漂うあたたかい雰囲気が子どもたちを包んでいます。



〒639-3102
奈良県吉野郡吉野町河原屋200
【電話番号】0746-32-2901

「ふるさと教育」について

よしのこども園、小学校、中学校では、「ふるさと教育」を行っています。ふるさと「吉野」を知って、もっと好きになってもらうために、地域の方とふれあいがながらたくさんの体験学習などを行っています。



よしのこども園
小学校、中学校
対象

吉野町での仕事探し

仕事探しのサポート窓口の紹介

■ ハローワーク下市

奈良県吉野郡下市町に位置する公共職業安定所です。求職者に対して、職業相談や職業紹介、求人情報の提供などのサービスを行っています。



〒638-0041
奈良県吉野郡下市町下市2772-1
【電話番号】0747-52-3867
【営業時間】月～金曜日
午前8時30分～午後5時15分

詳しくはホームページをご覧ください。



起業・創業のサポート窓口の紹介

■ 吉野町商工会

起業・創業を目指す方、創業後間もない方に対する継続的な支援として、経営、財務、人材育成、販路開拓に関する知識を習得するためのセミナー・創業塾・個別相談を実施しています。



〒639-3114
奈良県吉野郡吉野町丹治163-1
【電話番号】0746-32-3244
【営業時間】月～金曜日
午前8時30分～午後5時15分

詳しくはホームページをご覧ください。



テレワークスペースの紹介

■ 三奇楼デッキ no 下

古民家を改修したゲストハウス三奇楼に隣接するワーキングスペース。吉野川を見ながら仕事ができるカウンターと大きなテーブルのワークスペースがあります。また、ドミトリも併設しているため、滞在しての長期利用も可能です。



〒639-3111
奈良県吉野郡吉野町上市207
【電話番号】0746-39-9207
【営業時間】月～金曜日
午前8時30分～午後5時15分
【利用料金】500円/半日
【設備】電源、Wi-Fi、駐車場、共有キッチン

詳しくはホームページをご覧ください。



■ YOSHINOGATEWAY

3階建てのビルを改修したコワーキングスペース&シェアオフィス。1階はちょっとした仕事や、打ち合わせや会議ができるカフェスペース、2階には集中して仕事したい方のためのコワーキングスペースで、オープンスペースと半個室、会議室を設けています。



〒639-3111
奈良県吉野郡吉野町上市254-1
【電話番号】0746-42-8111
【営業時間】月～土曜日
午前9時00分～午後5時00分
【利用料金】1階：ドリンク注文で利用可
2階：1,000円/日
【設備】電源、Wi-Fi、駐車場、コピー機（有料）

詳しくはホームページをご覧ください。



吉野で挑み続ける人々

吉野町では町内で挑戦している方々（人や企業）を応援しています。日々の暮らしを自分らしく。生活を彩る小さな挑戦から、歴史や想いを紡ぐ大きな挑戦まで。吉野らしさ、自分らしさを求めて挑み続ける人々の暮らしをご覧ください。

詳しくはホームページをご覧ください。



吉野町での空き家探し

吉野町空き家バンクの紹介 | 吉野町役場が運営しているから、安心して利用できる！

吉野町では、町内の空き家の有効活用をとおして定住促進を図る取組として吉野町空き家バンクを設置し、移住や定住を検討する方に適切な物件情報の提供を行っています。物件情報は自由に閲覧できますが、実際に内見をしたり、詳しい情報を収集したい場合には、吉野町空き家バンクのウェブサイトを利用登録を行う必要があります。まずは、吉野町に相談してみよう。



<窓口>
吉野町役場 協働のまち推進課
〒639-3192
奈良県吉野郡吉野町上市80-1
【電話番号】0746-39-9070（直通）
【営業時間】午前9時00分～午後5時00分
（祝日・休日・年末年始を除く月曜日から金曜日）
詳しくはホームページをご覧ください。



DIYを楽しむ

木のまち吉野ならではの！吉野杉や桧を使ってDIYに挑戦してみよう！

吉野町の移住者は、物件購入後にDIYを楽しみながら空き家を住める家にする人もいます。DIYの楽しさは、自分のアイデアを形にでき、オンリーワンのアイテムや空間を作ることができます。また、吉野町は木のまち。吉野杉や桧を手軽に手に入れることもできます。そんなときは製材所の人を頼ってみよう。



吉野町で移住体験してみよう

吉野町では、移住を検討している方に向けて、吉野での暮らしを知ってもらうために移住体験の機会を設けています。移住体験スペースで吉野町での暮らしを知ってもらったり、地域の人との交流や地域のお仕事体験もできます。まずは、お気軽におこしください！

私たち「住んでよしのナビ」メンバーまでお気軽にお問い合わせください



「住んでよしのナビ」とは

吉野に興味のある方、吉野に住んでみたいと思う方のために、情報をお届けしたり、地域を案内したり、地域の人や先人移住者との交流の機会をつくる等、移住定住の促進や空き家利活用に取り組む団体です。また、吉野町を知ってもらうためのツアーを開催したり、DIYイベントも実施しています。メンバーにも先人移住者がいますので、「そこが知りたい！」ということは、何でも聞いて下さい。

お問い合わせは、「住んでよしのナビ」のホームページ、お問い合わせフォームをご利用ください。



より深く吉野町を知ろう

先人移住者が吉野に移住を決めたきっかけとしてよく聞くのが、地域の人温かく、おおらかで、受け入れてくれるのだとか。構い過ぎず、でも放っておかれるわけでもない、この絶妙な距離感が心地よいという声をよく聞きます。移住に関心がある人、吉野を知りたい人は、地域のイベントや行事のお手伝いや、仕事の体験、先人移住者との話し合いなど、様々な機会を提供しています。



宿泊施設について

吉野町では、「吉野山上千本」「吉野山中千本」「吉野山下千本」「上市・吉野」「龍門・中竜門」「中荘・国栖」とエリアごとに宿泊施設が多くあります。吉野ならではの春、夏、秋、冬と四季それぞれ違った景色を楽しめるお宿や築60年越の古民家をDIYリフォームした一軒家の民泊、移住体験ができるゲストハウスなど。女性の一人旅でも安心して泊まれたり、ご家族や広々とした空間を活用し合唱や演奏などの音出しも可能な宿など、シチュエーションに合わせてお宿を選んでみてください。

詳しくは宿泊施設一覧をご覧ください。



子育てに関する主な補助制度

● 高等学校等通学費補助金

高等学校等への公共交通機関等(鉄道・路線バス・スクールバス)の通学定期購入費用の2分の1(月額上限1万円)を補助します。



● 母子保健事業

・ 吉野町妊婦タクシー利用費助成

安心して受診できる環境を整備するために、妊婦タクシー利用券をお渡ししています。
(1枚につき1,000円で、1回の申請につき20枚交付)

・ 産後ケア事業

産後に宿泊や訪問等による心身ケアや育児サポートを行っています。
(宿泊：5,750円/日～ 通所：2,250円/回～ 訪問：0円/回)
※2025年2月現在 利用する施設によって変わる場合があります。

・ 不妊治療費助成

生殖補助医療(保険適用、一部保険適用外)で本人が負担した治療費の補助を行います。
(1組の夫婦に対し、不妊治療・不育治療を併せて1年度あたり上限100,000円(通算5年間))

・ 妊婦健診費用全額助成

吉野町は妊婦健診費用を全額助成し、新しい家族の誕生を応援します。



● 予防接種事業

・ 任意予防接種費用の助成

各種任意予防接種料金の一部または全部を助成しています。



奈良県 奥大和移住定住交流センター engawa

「奥大和移住定住交流センター engawa」は、奥大和地域の暮らしの相談窓口です。現地にはコンシェルジュが常駐しており、奥大和への移住や定住のご相談はもちろんのこと、各市町村の特徴・住まいなど、様々な相談を受け付けています。



〒634-0003
奈良県橿原市常盤町605-5
橿原総合庁舎別館
【電話番号】0744-48-3019(直通)
【営業時間】月～金曜日
午前10時00分～午後5時00分

詳しくはホームページをご覧ください。



(吉野町の情報をSNSで発信中!)

吉野町公式SNS

@yoshino_nara_japan
公式
Instagram



公式
Facebook



吉野ビジターズビューロー公式SNS

@yoshino_kankou
公式
Instagram



公式
Facebook



(発行・吉野町への移住に関する相談窓口はこちら)

吉野町 協働のまち推進課

〒639-3192 奈良県吉野郡吉野町上市80番地の1
【電話番号】0746-32-3081(代表)
【営業時間】月～金曜日(祝日・休日・年末年始を除く)
午前8時30分～午後5時15分

